

横浜市立桂台中学校

学校だより



令和8年度 NO.3 令和8年6月25日（木）発行

「雨の中で深まるもの」

副校長 武田 剛史郎

色とりどりの紫陽花が雨に輝く季節となりました。職員玄関前にも用務員さんが用意してくださった紫陽花がひときわ鮮やかに咲いています。その姿は、日々の中で少しずつ自分を育てていく生徒の姿と、どこか重なって見えます。

さて、5月29日に実施した体育祭は無事に終了し、どの競技においても、生徒一人ひとりが本気で取り組み、学校全体が大きな一体感に包まれた一日となりました。勝敗だけでなく、仲間と声をかけ合い支え合う姿にも、日頃の学校生活の積み重ねが表れていたように感じます。

中でも、3年生が披露した「ダイナミック琉球」は、多くの人の心に残るものとなりました。一つ一つの動きに込められた思いや全体としての迫力からは、最上級生としての自覚と責任が伝わってきました。この経験が、これからの学校生活やその先にもつながっていくことを感じさせる場面でした。



新年度になり、旅行的行事や体育祭という大きな行事を終えた後、生徒たちは今年度最初の定期試験にも向き合いました。特に1年生にとっては初めての定期試験となり、学習の進め方や時間の使い方に戸惑うこともあったかもしれません。しかし、自分なりに計画を立てて取り組んだ経験や、課題を振り返ることは、次の一歩へとつながる大切な学びになります。

紫陽花は、土や水、光といった環境の中で、その色を変えていきます。同じように、生徒たちもまた、さまざまな経験や出会いの中で、自分自身のあり方を少しずつ形づくっていきます。

梅雨に入り、急な天候の変化などで、思うようにいかない日もあるかもしれません。そんな時間の中にも、それぞれの歩みを静かに支えるものが育っている——そのことに目を向けながら、生徒一人ひとりの成長をこれからも見守っていきたいと考えています。